

埼玉 GPN NEWS

Saitama Green Purchasing Network
埼玉グリーン購入ネットワークニュース
第 11 号 2013 年 9 月

～環境への負荷が少ない商品・サービスの優先購入を進める
首都圏初の地域ネットワーク～

埼玉GPN NEWS 2013.9



神田正会長

CONTENTS

- トップインタビュー
株式会社ハイデイ日高 1
- 第6回定期総会及びグリーン購入フォーラムを開催 2
- パソコンの買い選び方 3
- 会員紹介 モデリング株式会社 3
- 埼玉県の魅力発信カフェ「カフェタマ」 4

合理化された加工工場で 廃棄物ゼロを目指す！



環境への取り組みについて聞く江田会長

今回は一部上場、急成長を遂げている駅前ラーメン店である「株式会社ハイデイ日高」を訪問し、神田正代表取締役会長から環境への取組等をお聞きしました。

江田：御社はラーメンを販売しているばかりでなく、工場では食材を作っている製造業でもありますので、現場での考え方、環境配慮の取組をお聞かせ下さい。

神田会長：約600店舗展開を目指し、現在行田の加工工場の増設を予定しています。この度、行田工場が彩の国ハサップを取り入れた優良施設として、埼玉県から行田工場の全ての施設（麺類・そうざい・食肉・そ

の他)が認められました。

彩の国ハサップの手法を行田工場の衛生管理に用いて、食の安全・安心を推進し、各店舗に品質の良い食材を供給し、お客様に安全・安心な料理を提供して行きたいと思っています。

廃棄物問題については、以前寸胴鍋で鶏がらなどを煮出していたのですが、がらが大量に出て処分困っていました。今はスープ専門メーカーへ弊社指定仕様のエキスを委託製造し、当社の味に店舗でブレンドしてお客様へ提供していますので廃棄物が大幅減りました。

行田工場から出る廃棄物、特に食品残渣は、彩の国資源循環工場の中にある中間処理施設「株式会社アイル・クリーンテック寄居工場」にて、堆肥としてリサイクルされています。2009年度に行田工場から排出した食品残渣由来の堆肥が54t生産されました。

江田：なるほど、衛生管理の行き届いた工場で材料を加工されているので、消費者にとっては安心ですね。また廃棄物や排水などの環境問題への対応は、しっかりされているということもわかりました。

キャベツなど大量の野菜を利用されていると思いますが、やはり地産地消を意識されているのでしょうか。

神田会長：はい。餃子は一日6万食を作っています。キャベツは国内契指定業者から仕入れています。キャベツ、白菜、ニラなどは国内産となっています。工場ですべて洗浄、カットして、ポーションにして各店舗に配送しています。ムダを徹底的に省いていますので、低価格で提供できるのです。

江田：今度はお客様に対して環境への推進等をされているかお聞きします。

神田会長：まずは割り箸を使わないということです。使い捨ての箸を使うと廃棄物も増えますので、何回も使える箸を提供しています。今年も大変暑いですが、埼玉県が推進する「みんなでマイボトル運動」の飲食店冷水無料協力店となっています。埼玉県内の該当する

日高屋・来来軒・中華一番などの店内で食事をしたお客様が、マイボトルへの給水を希望した場合、店側が無料で冷水を提供しています。

江田：各店舗は駅のすぐ近くに出店されていますが、何かお考えがあるのでしょうか。

神田会長：地域に貢献したいと思っています。昔は駅前に屋台があり、皆一杯飲んだりして楽しんでいました。今はその屋台の代わりをしていると思っています。駅前にお店があるということで、お酒も飲めるし、車を使わないでも立ち寄れるということでCO₂の削減にもなります。今後高齢化社会になってくると、近くで買い物や食事ができたりと、生活が完結できる街が必要となってきます。駅はその拠点ではないかと思っています。

また地域によっては、駅前にお店があることで周囲が明るくなって、防犯上よくなったとお礼を言われることもあります。やはり事業をするということは、収益だけでなく、いかに地域に貢献し、このお店があっただけでよかったと皆に感謝されるかが重要と考えます。義が優先されるのです。

江田：本当に地域に根差した運営が重要ですね。最後に、今約330店舗展開されていますが、従業員のガバナンスをどうされていますか？

神田会長：従業員の教育は重要だと考えます。商品力では、他と差が無い中で、いかに店のプレゼンスを保っていくか。やはりよき人材に恵まれることです。人は強みです！

各店の店長には、月一回集まってもらって、私や社長が運営状況について説明しています。地区長を設定しており、15～16店舗に1人ずつ、今17人がおり、勉強会等を行っています。目標600店舗では、随時店長を養成していかなければなりません。弊社は店長試験制度を作っており、筆記試験と実技試験があります。

人材育成には時間がかかります。1年に30店舗ずつくらい増やしていけば、人材育成とのスピードが合うかと思っています。

企業は日々努力です。止まっていたら同業他社に負けてしまいます。いつも走っていかなければならず、経営の難しいところだと思っています。

江田：今日は環境配慮の取組から人材育成のお話まで、多岐に渡りお聞かせいただき、ありがとうございます。お話を聞いて、駅前ラーメン屋「日高屋」がより身近なお店に思えました。今後も環境に配慮された取り組みを進めながら、発展されていかれることを期待しています。

第6回定期総会及び グリーン購入フォーラムを開催



開会の宣言をする江田会長

6月21日(金)、埼玉グリーン購入ネットワーク第6回定期総会を開催しました。多くの会員の参加を得て、議案も全て承認され、いよいよ今年度の活動が始まりました。今年度は、会員の皆様と顔の見える関係を築き、さらなる連携や活動を展開していきたいと考えています。

定期総会終了後は、恒例の埼玉グリーン購入フォーラムを開催しました。今年のテーマは「グリーン購入を取り巻く最新の動き」とし、今後の事業活動の参考となるように再生可能エネルギーの動向や、輸配送のグリーン購入調達におけるガイドラインについて最新情報を提供しました。

最初に、国際ガス連盟環境委員会委員長の吉田聡氏から「シェールガスを取り巻く世界のエネルギー情勢と事業活動への影響」についてお話いただきました。

シェールガスの賦存地域や、技術的回収可能資源量、天然ガス輸出入の今後の流れなどをグラフや写真を用いて分かりやすく解説いただきました。



シェールガスについて説明する吉田氏

続いて、グリーン購入ネットワーク専務理事・事務局長の麴谷和也氏からは、輸配送部門における環境負荷低減と、荷主が考慮すべき項目を明確にする「輸配送(貨物自動車)契約ガイドラインのリリースについて」情報提供いただきました。

更に、東京都トラック協会環境部環境対策課課長の



会場の様子

前川宣将氏に、グリーンエコプロジェクトとして協会で実施しているエコドライブ活動。最後に、東京都環境局自動車公害対策部計画課計画係長の折原岳朗氏から、東京都が今年度から実施する「東京都貨物輸送評価制度について」報告いただきました。これは東京都と東京都トラック協会が協力して、1ヶ月毎に合計42万台分の走行データを集計し、三段階で運送事業者を評価するというものです。今後は、グリーン購入ネットワークと連携し、荷主企業や消費者が環境に配慮した輸配送を行う事業者を選択できる仕組みを検討していくそうです。

フォーラムは44名もの参加があり、「シェールガスの中身を詳しく知ることが出来た」や、「グリーンエコプロジェクトの走行データ分析を行った努力がすごい」との意見が寄せられました。また、今後取り上げて欲しいテーマについて「グリーン購入の具体的な推進方法」や「再生可能エネルギーについて」など多くの意見がありました。

当団体として、今後も地域と連携し、期待に沿えるような活動を続けていきたいと思っています。

パソコンの賢い選び方

2014年4月でサポートが終了するWindows XP。来年の4月に向けてオフィスのパソコンを切り替えることが増えてくるのではないのでしょうか。そこで今回は、環境のことを考えたパソコンの選び方を整理しましょう。

環境のことを考えたパソコンを選ぶポイント

- 使用時・待機時の消費電力が小さいこと
(省エネ法、国際エネルギースタープログラムの基準を満たし、低電力モードでの消費電力が小さいこと)
- 長期使用や再使用を可能にするため、性能

向上や機能拡張ができること。また、修理体制が充実していること

※GPN「パソコン」購入ガイドラインから抜粋

○使用時・待機時の消費電力が小さい機種を選ぼう

パソコンの使用段階におけるCO₂排出量は機種やスペックによって異なりますが、ライフサイクル全体で排出されるCO₂の約40～60%と言われており、使用時・待機時の消費電力が小さい機種を選ぶことが大切です。使用時や待機時の消費電力が小さい機種を選ぶ目印となるのが、省エネルギーや国際エネルギースタープログラムです。省エネルギーでは、省エネルギー法で定められた基準への達成率が100%を超える場合、達成率がA、AA、AAAの3段階で表示されています。



省エネルギー



国際エネルギースタープログラム

○長く使うために、性能向上や機能拡張がしやすい機種を選ぼう

社団法人電子情報技術産業協会による平成15年の調査によると、パソコンの平均保有年数は、法人ユーザー向け商品5.8年、個人ユーザー向け商品8.9年となっています。性能向上や機能拡張を行うためには、増設できるメモリやハードディスクの容量が大きい機種や、さまざまな周辺機器との接続を可能にするために、拡張スロット(デスクトップ型)やUSB、IEEE1394ポート等を備えている機種を選ぶことが大切です。

○機種別の環境情報は「エコ商品ねっと」

パソコンの機種別環境情報は「エコ商品ねっと」で閲覧・検索できます。「エコ商品ねっと」は年4回(3、6、9、12月末)環境情報を更新しています。

エコ商品ねっと <http://www.gpn.jp/econet/>

モデリング株式会社

弊社での取り組みとしましては、埼玉県内の中小企業様に特化した、ITを活用したオフィス環境の向上支援をさせていただいております。

埼玉GPN会員一覧

順不同

その一環として、グリーン購入法判断基準適合商品を基軸に、企業のペーパーレス化や省電力化などの企画提案から設計施工をいたしております。

現在はFUJIXerox商品をメインで取り扱っており、埼玉県内の中小企業様に対しITを活用した最適なオフィス環境の支援を実施しております。

近年では更に環境面に配慮したオフィス環境を実現する為に、従来の蛍光灯からLED蛍光灯へのお切替など埼玉県中小企業に対し環境配慮の意識付けやエコに対する対策のきっかけ作りなど、弊社のサービスを通してオフィス環境向上企業を1社でも多く創出する事を使命と捉えております。

GPN会員企業として、環境への配慮や、環境との調和を常に尊重した活動を事業を通して展開し、安全で環境にやさしい商品・サービス及び情報提供をすることにより、社会の環境保全活動に繋がると確信しております。

会社HP : <http://www.modeling.jp/>

埼玉県の魅力発信カフェ「カフェタマ」

「カフェタマ」はジェイアール東日本フードビジネスと埼玉県産業労働部観光課及び埼玉県物産観光協会、東日本旅客鉄道(株)大宮支社が協力し、食を通じて埼玉の地域生産品や地域の魅力等を発信するカフェとして2013年4月13日(土)にさいたま新都心駅改札外にオープンしました。

店内では「狭山茶」「彩のかがやき(お米)」「彩の国黒豚」「コエドビール」など埼玉県産品をアレンジしたカフェメニュー等を頂くことが出来ます。
(営業時間：平日7:00～22:00／土日祝7:00～21:00、テイクアウトコーナー 7:00～20:00)



カフェタマ外観

りそな総合研究所(株)、(株)ぶぎん地域経済研究所、(株)ハイディ日高、(株)テレビ埼玉ミュージック、大宮アルディージャ、浦和レッドダイヤモンズ、埼玉日産自動車(株)、柏木建設(株)、武州ガス(株)、(株)ヤオコー、(有)タカザワ企画、(有)パル、(株)関東パイプ技研、(株)小山本家酒造、埼玉トヨペット(株)、ポラス(株)、リコージャパン(株)関東営業本部埼玉支社、望月印刷(株)、(株)イーシティ埼玉、新日本有限責任監査法人さいたま事務所、(株)ピククルスコーポレーション、(株)FM NACK 5、(株)デサン、(株)タカヤマ、(株)アクセル、(株)ビージーサービス、武州産業(株)、(株)埼玉りそな銀行、(株)ビルテクノマイニチ、(株)松永建設、(医)誠昇会北本共済病院、(株)マツハ、税理士法人レッドサポート、(株)武蔵野銀行、(株)アルク設計事務所、埼玉縣信用金庫、(株)八洲電業社、(株)エンライト、(株)ワーム、(株)ジャスト、東京ガス(株)埼玉支社、(株)ユーパーツ、溝口洋紙(株)、(株)エコ環境システム、(株)松柳園、(株)甲商、(株)ビルヒット、(株)東京化成製作所、アピカ(株)、ケミテックシー・エス・エス(株)、武正(株)、北海製罐(株)、コクヨマーケティング(株)埼玉支店、富士ゼロックス埼玉(株)、国際チャート(株)、三国コカ・コーラボトリング(株)、(株)ベルエール、(株)ハイクレー、フォーレスト(株)、サンケイ銅器(株)、大成ロテック(株)、(株)ジャパンアート、(株)アートドットコム、(株)シール堂印刷埼玉事業所、(株)埼玉ディエスジャパン、(社福)埼玉福祉会、毎日興業(株)、(株)与野フードセンター、マルキュー(株)、(株)メガネットワーク、(株)埼玉新聞社、(株)国太楼、(株)エヌ・ティ・ティ・クオリス、(株)太陽商工、(株)神谷製作所、モデリング(株)、(株)ヒメプラ、戸田市、埼玉県、さいたま市、日高市、川越市、川口市、生活協同組合コープみらい、(特非) E Eハーモニー、埼玉県商工会連合会、(公財)さいたま市産業創造財団、(財)埼玉県産業振興公社、埼玉中小企業家同友会、さいたま商工会議所、埼玉県中小企業団体中央会、(公財)埼玉県公園緑地協会

■ 入会案内

団体会員、サポーター(個人会員)があります。申込書はHPからもダウンロードできます。ぜひ一緒にグリーン購入を。

■ 発行：埼玉グリーン購入ネットワーク

〒337-0053さいたま市見沼区大和田町2-1322-2大和田NPOプラザ内
TEL.048-749-1217 / FAX.048-749-1218
E-mail saitamagpn@yahoo.co.jp
Home Page <http://www.saitamagpn.jp/>